2018.2作成

パクリタキセル＋カルボプラチン療法を受けられる方へ

投与スケジュール

1日目	2日目以降
パクリタキセル	休薬期間
カルボプラチン	

1コース（3週間）

3週間を1コースとして繰り返します。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※　個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

当日（点滴中）	●血管痛・静脈炎　●過敏反応
治療当日～数日	●吐き気・嘔吐　●関節痛・筋肉痛　●手足のしびれ
治療数日～数週間	●口内炎　●便秘　●白血球減少　●血小板減少
数週間～数か月	●手足のしびれ　●貧血　●脱毛

◇血管痛・静脈炎

点滴中および投与後に、点滴部位が痛んだり腫れてきた場合はすぐにお申し出ください。

◇過敏反応：発疹、かゆみ、呼吸困難など

点滴中まれに、発疹、かゆみ、呼吸困難などのアレルギー症状が起こる場合があります。
過敏反応を抑える薬を事前に投与します。
どきどきする、発疹が出てかゆいなど普段と違うことがある場合はすぐにお申し出ください。

◇吐き気・食欲不振

水分を摂り、消化の良いものや食べたいものを少量ずつ食べましょう。

◇関節痛・筋肉痛

治療開始2～3日後から、症状が出ることがあります。痛みのある部分を温めたり、マッサージをしましょう。

◇末梢神経症状：手足のしびれなど

「しびれて歩きにくい」「細かな作業がしづらい」「感覚が鈍くなる」「手足の刺すような痛み」などの症状が現れることがあります。治療を続けるうちに悪化することがあるため、早めに報告してください。

◇白血球減少：発熱、寒気、のどの痛み、咳、頭痛

白血球が減少すると、抵抗力が低下して、感染症にかかりやすくなります。外出時はマスクを着用し、人ごみを避けましょう。手洗い、うがいをこまめにしましょう。
38℃以上の発熱がみられた場合はすぐに受診してください。

◇血小板減少：血が止まりにくい、アザができる

血小板が減少すると血が止まりにくくなります。
ケガや転倒、打撲には十分注意し、歯磨きや鼻をかむときは優しく行いましょう。

◇貧血：めまい、息切れ、疲労

ヘモグロビンが減少すると、貧血症状（めまいなど）が現れることがあります。
激しい運動は控え、疲れを感じたら、あまり無理をせず、こまめに休むようにしましょう。

◇脱毛

治療開始2～3週間後から、髪の毛や体毛が抜け始めます。治療が終了すると、また生え始めます。シャンプーは刺激の少ないものを使用しましょう。

文責：岐阜市民病院薬剤部　TEL:058−251−1101